

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
歴史学B	「文化」の歴史と変化を理解する	濱 雄亮	1 年次後期
講義の目的	様々な視点から「文化」の歴史と多様性・共通性を分析する方法についての理解を深めることと、江戸・東京・豊島区の歴史について理解することを目指します。それを通して、グローバル化の進展や東京オリンピックを控えた現在に必要とされる、異文化や自文化について考える能力を身につけられるようにします。		
到達目標	「文化」の歴史と多様性・共通性の背景について具体的に説明できること、「文化」を比較する方法を具体的に説明できること、江戸・東京・豊島区の歴史について具体的に説明できることを目指します。		
講義内容	「文化」について、広い視点でいろいろな事例を紹介します。ここでいう「文化」には、食事やあいさつや親戚付き合いの方法など、私たちが「当たり前」と思っている多くの行動や常識を含んでいます。このような広い意味での「文化」について、他の地域の例や過去の例と照らし合わせて具体例を多く紹介します（外国の例を含む）。また、私たちが生活している東京・豊島区の歴史について紹介します。 予備知識はとくに必要ありません。		
講義スケジュール	第1講	導入：「文化」とはなにか	
	第2講	儀礼：成人式はなぜ荒れる？	
	第3講	呪術・妖術：呪いは遠い世界のこと？	
	第4講	民族と人種：自分を誰とどう比べるのか？	
	第5講	交換と経済：「おごる」ことの意味とは？	
	第6講	出産と子育て：子どもとはどんな存在か？	
	第7講	身体観の歴史：体の境目はどこにあるのか？	
	第8講	病気観の歴史：どんな状態が病気？	
	第9講	異文化との接触と文化の変化	
	第10講	江戸と東京の歴史（1）江戸時代の土地利用	
	第11講	江戸と東京の歴史（2）明治時代以降の土地利用	
	第12講	豊島区の歴史	
	第13講	歴史的文化財とその保護	
	第14講	震災と芸能	
	第15講	総括	
指導方法	毎回紙の資料を配付して講義形式の授業を行います。映像資料やウェブ上の動画・画像や講師が撮影した写真を映写することもあります。なお、「**と聞いて思いつくこと」などをその場で質問し、履修者の答えを講義に生かすこともあるので、積極的に答えてください。毎回、コメントカード記入などの授業内課題を課します。		
授業外学習	事前学習として、シラバスに挙げられている項目について事典・書籍・ウェブサイトによって概要を調べて下さい。事後学習として、授業中に紹介した書籍や配布物を読むことや、自ら関連映像資料を探して視聴して下さい。		
成績評価方法	平常点（授業内課題）：40%、平常点（レポート）：15%、本試験（筆記試験）：45%。		
テキスト	使いません。紙の資料を配付します。		
参考書籍	陣内秀信『東京の空間人類学』筑摩書房、1992年。波平恵美子〔編〕『文化人類学 カレッジ版』第3版、医学書院、2011年。道信良子〔編著〕『いのちはどう生まれ、育つのか』岩波書店、2015年。他にもその都度紹介します。		
特記事項	学外での見学会を行う場合があります（歴史的行事や博物館など）。		